

お客様各位

2012年6月25日

白山工業株式会社

うるう秒調整時の挙動 計測機器**地震・火山・振動計測データロガー LS-8000WD(連続観測版・トリガ版)**

[GPS モジュール]

使用されている GPS モジュールは、古野電気製 GT74NNNC です。
うるう秒が日曜日に挿入されると不具合が発生する GPS モジュールですが、
通常と同じ挙動をします。

[挙動詳細 (日曜日/日曜日以外)]

ハングアップせずに動作を続けます。

液晶表示 : うるう秒調整の表示は含まれません。

08:59:58、08:59:59、09:00:00、09:00:01、02・・・
の順番で表示されます。(うるう秒の表示なし)

測定データ (連続版) : 8 時台のデータはファイル数が 6 ファイルになります。
08:59:59 までの拡張子.005 ファイル (10 分記録) は正常に
記録されますが、続けてうるう秒 (1 秒) のみを含んだ
拡張子.006 ファイルが生成されます。

※電源 OFF/復旧等がない場合の拡張子名です。

この.006 ファイルは、08:59:59 と重複するデータが含まれます。

09:00:00 以降は正常にデータファイルが生成されます。

測定データ(トリガー版) : (うるう秒をまたいだ場合)

うるう秒調整前後のデータは連続して記録されます。

ただしデータの時刻はうるう秒が考慮されておりません。

うるう秒調整後からイベント終了までは記録が 1 秒ずれる
こととなります。次のイベントからはうるう秒を考慮した
時刻のデータが生成されます。

[うるう秒調整後に動作させる場合]

うるう秒調整情報を持たない機器(うるう秒調整を知らない機器)が調整後に
時刻同期を行った場合、時刻ズレ (1 秒ズレ) が発生します。
2012 年 2 月 8 日以降にアルマナック取得を行っていない場合に対象となります。
LS-8000WD (連続観測版) は、起動後、6 日経過毎にアルマナックを取得します。
完全に情報を取得するまでに約 30 分かかります。

アルマナック情報を取得後に再起動をした場合は、
時刻校正が成功したときにうるう秒が調整されます。

調整後に動作させる場合の対策について

起動後、SYS06 に設定した状態で約 30 分ほど動作させた後に再起動します。